

平成28年度のこども部重点施策について

平成27年度第2回柏市健康福祉審議会
児童健康福祉専門分科会
(平成28年3月25日)

■地域子育て支援拠点 【子育て支援課】

◆拠点数

平成29年度以降に予定していた新規整備を前倒しし、28年度中に沼南社会福祉センター、青少年センター、あけぼの山公園の3か所に整備する予定です。

◆合同研修会

平成28年度も引き続き実施する予定です。

◆親支援プログラムの導入（児童センター）

- ①BPプログラム：第1子（2～5か月児）とその母親を対象にしたプログラム。参加者同士が安心して話し合う中で、育児の知識やスキル、親の役割などを参加者同士で学び、深める。
- ②ペアレント・プログラム：子育てに困り感のある保護者のためのプログラム。「行動で考える・行動で見る」ことに特化し、行動からの子ども理解やほめることでできることを増やすという関わり方の工夫を学ぶプログラム。（ペアレントトレーニングの簡易版）

■子育て支援ネットワークの構築 【子育て支援課】

かしわ市民大学の中で、子ども・子育て支援をテーマにした講座を実施し、その参加者をベースにしてネットワークの構築を目指す方向で調整しています。

かしわ市民大学講座（予定）

①連続講座

計5回のワークショップ（H28年10月～12月）

市民交流センター内ミーティングルーム

②成果発表会（啓発イベント）

講演、成果発表、交流イベント、その他（H29.1.28）

市民交流センター内オープンスペース

■ 児童虐待防止 【こども福祉課】

- ・ 児童虐待防止を目的とし、特定妊婦等の支援強化を図るため、柏市産科医療機関情報交換会を、次年度も継続して実施予定です。
- ・ その他家庭児童相談事業においても、平成 28 年度は、家庭児童相談員を 5 名から 6 名へと増員し、毎年増え続けている虐待通報や電話相談等の家庭児童相談体制を強化していきます。

■ ひとり親家庭児童学習支援 【こども福祉課】

- ・ 次年度も継続して実施予定です。
- ・ 平成 28 年度は、通年実施に近い形で事業を開始できるよう進めています。
- ・ 対象学年の拡大や、実施会場の確保が今後の課題です。

■ 子どもの貧困対策 【こども福祉課】

平成 28 年度にヒアリング、アンケートによる実態調査を実施します。実態調査では、貧困の連鎖防止のための学習支援、放課後の子ども居場所づくりなど、支援のニーズや資源等に関する調査を実施します。

調査による実態の把握、分析を実施し、関連機関の連携・協働を包含した支援体制の整備計画を策定する予定です。

教育、福祉、生活、地域、家庭など複雑に絡み合う諸要因、生活環境等に対応するため、地域や部門間などの連携をより強化し、重点的・効果的な対策を推進することで、全ての子供たちが夢と希望を持って成長することができる環境を目指します。

■ 病児・病後児保育 【保育運営課】

平成 28 年度中に 1 施設を追加する方向で調整を進めています。新たな施設では、病後児だけでなく病児も対応できることを想定しています。

病児・病後児保育は、その内容からも誰にでもできる事業ではなく、担い手があって初めて実施できる取り組みです。市内の医療機関等との調整を図りながら、スピード感をもって検討を進めていきます。

■ 児童発達支援の充実 【こども発達センター】

平成 28 年度 4 月、社会福祉法人青葉会が児童発達支援センター「リトルペガサス」を定員 30 名で開所することとなり、市内 2 箇所の児童発達支援センターで 80 名の定員を確保することができ、適切な支援量の提供に向けて前進が期待できます。

◆ 児童発達支援センター間の連携の取り組み

児童発達支援事業における連携だけでなく、支援が必要とされる子どもが所属する幼稚園・保育園等への支援や、その他の関係機関との連携といった「地域支援」においても連携を密に行っていきます。